

平成27年度森林利用学会

平成27年度鹿児島大学農学部附属

高隈演習林「教育関係共同利用」

日程：平成27年12月4日（金）～5日（土）

1）現地見学会：12月4日（金）

鹿児島大学農学部附属高隈演習林（高性能林業機械実演）、垂水市海
潟 3237、TEL:0994-32-6329

2）懇親会：12月4日（金）

ジェイドガーデンパレス（鹿児島市上荒田町 2-19-1、
TEL:099-257-1211）

3）学術研究発表会：12月5日（土）

鹿児島大学農学部共通棟（104、105号）

大会スケジュール

12月4日(金)

8:15 受付 (鹿児島大学農学部共通棟ロビー)

8:30 現地見学会開会, バスで桜島溶岩実験場・高隈演習林見学

17:00 鹿児島大学農学部に着

18:30 懇親会 (ジェイドガーデンパレス)

※現地へ自動車で行かれる方は、演習林管理棟にて受付

※現地見学会は、鹿児島大学農学部附属高隈演習林「教育関係共同利用拠点」として実施

12月5日(土)

8:45 受付 (鹿児島大学農学部共通棟ロビー)

8:55 会長挨拶 (鹿児島大学農学部 104 号室)

9:00 研究発表会 (鹿児島大学農学部 104・105 号室)

2会場に分かれて行います。ご注意ください。

<104号室>9:00-12:00, 13:00-15:15

<105号室>9:15-11:00, 14:15-15:15

(11:15-14:00 は学生会員による発表)

15:30 学生優秀論文発表賞 表彰式
(鹿児島大学農学部 104 号室)

15:45 閉会 (鹿児島大学農学部 104 号室)

参加費：フル参加の方：1,500円(フェリー代金, 弁当代, 資料代)

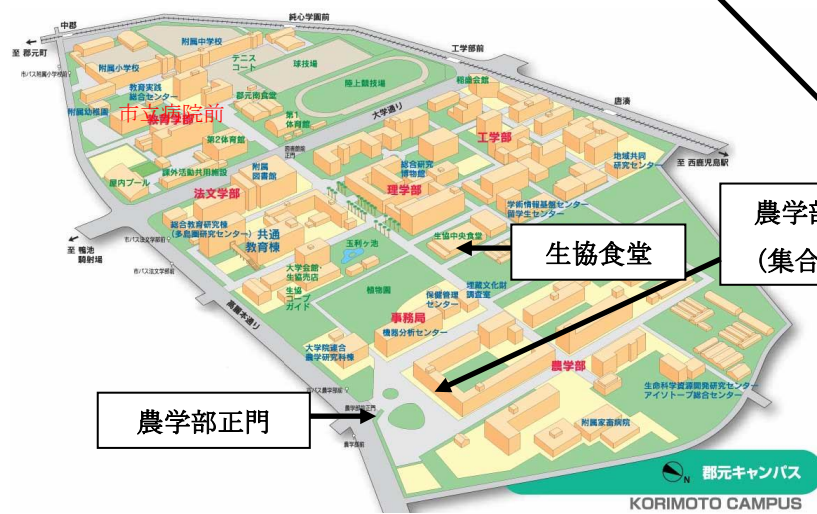
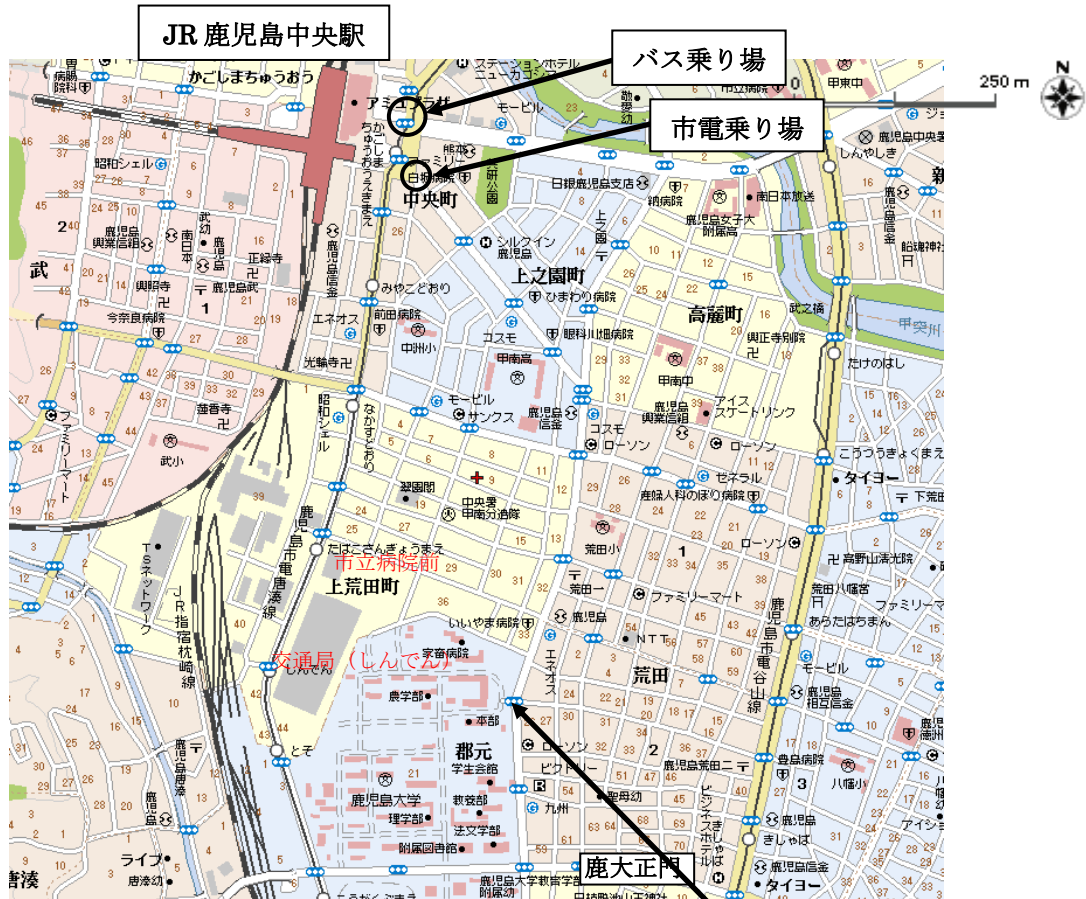
初日昼から参加の方(弁当注文の方)：1,000円(弁当代, 資料代)

初日昼から参加(弁当なし)・2日目のみ参加の方：500円(資料代)

懇親会：個人会員 5,000円・学生会員 3,000円

学術大会発表日(12/5)の昼食は、大学生協などで各自適当にお願いします

鹿児島大学農学部周辺地図



農学部共通棟 1F ロビー
(集合場所、101号教室)

12月4日：18:30～ 懇親会（ジェイドガーデンパレス）
（懇親会は18：30からに変更！）

ジェイドガーデンパレス所在地

所在地	鹿児島市 上荒田町19番1号
TEL	0120-29-1511（フリーダイヤル）
駐車場	100台
交通	徒歩：鹿児島中央駅より徒歩13分 市電：市立病院前駅下車 徒歩2分 タクシー：鹿児島中央駅よりワンメーター

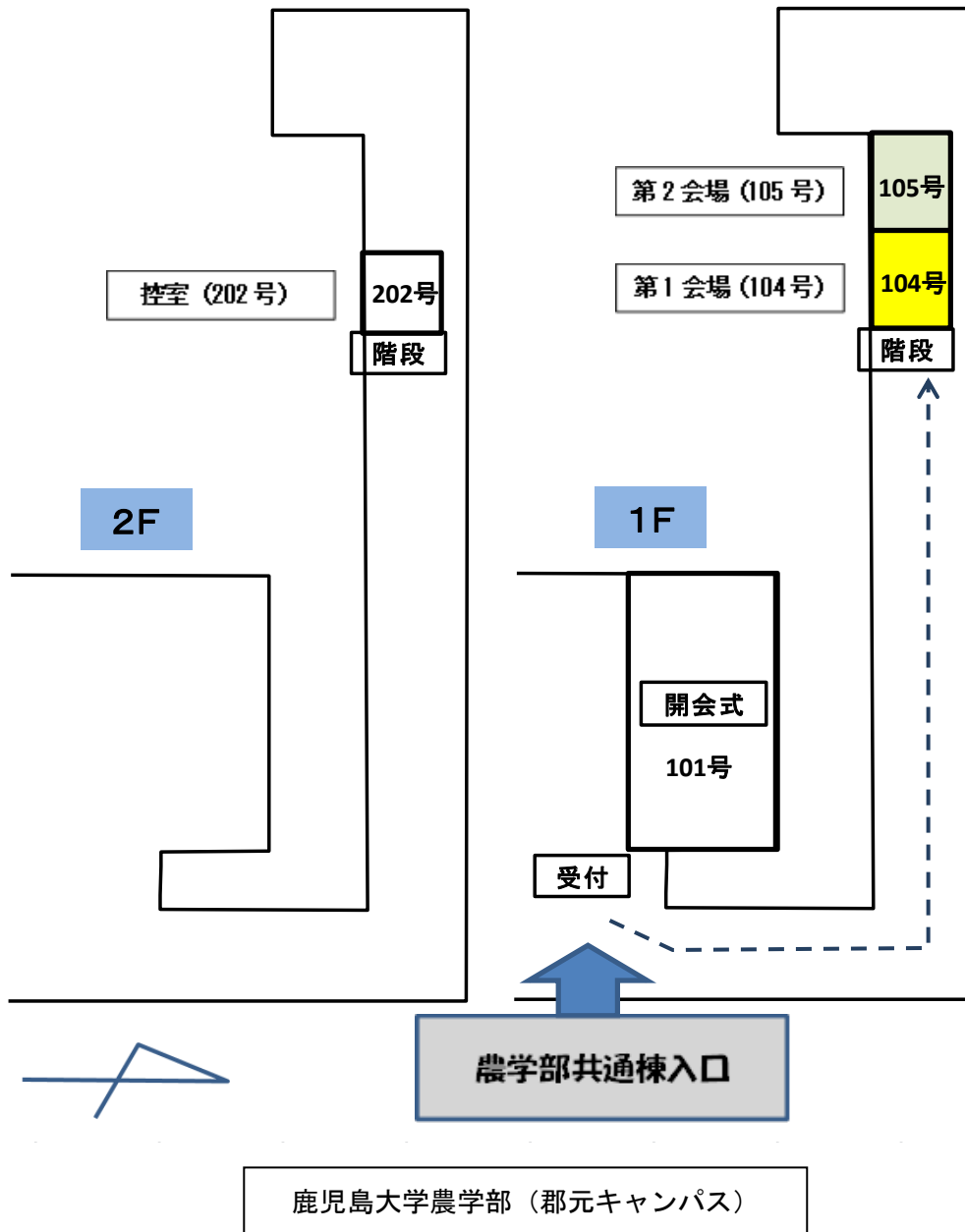


地図



鹿児島大学農学部、大会発表会場配置図

農学部共通棟104号（第1会場）、105号（第2会場）、控室202号（2F）



学術発表会スケジュール (12/5 : 共通棟 104号)

会場	時間	発表者氏名	所属	発表題名
第1会場 104号		<作業システム: 長谷川尚史>		
	9:00	佐々木 尚三	森林総研北海道	北海道におけるCTLシステムの現状
	9:15	大矢 信次郎	長野県林業総合センター	北欧製ハーベスタ・フォワーダシステムによる皆伐作業の生産性
	9:30	岩岡 正博	東京農工大学	トラクタ+トレラ型フォワーダ集材の生産性と作業コスト
	9:45	休憩		
		<同時造林: 有賀一広>		
	10:00	山崎 真	高知県立森林技術センター	架線を利用した一貫作業システムの実証試験
	10:15	片桐 智之	岡山県農林水産総合センター	スイングヤーダによるウインチ集材と「伐倒同時集材方式」を組み合わせた作業方法の検討
	10:30	河野 雄一	鹿児島県森林技術総合センター	一貫作業システムによる再造林の省力化及び低コスト化の実証試験
	10:45	旗生 規	東京農業大学	作業条件の違いによるコンテナ苗植栽作業における作業姿勢の評価
	11:00	休憩		
		<学生1: 白澤織明>		
	11:15	菊地 嵩	日本工業大学創造システム工学科	救命要請のためのデータ伝送可能な自動発報ホイスルの開発
	11:30	中島 千嘉	名古屋大学大学院生命農学研究科	平成13年~25年における林業労働災害の傾向
	11:45	ヒルトン・カバ・テイゴ・オンティ	高知大学農学部	Predicting the future of Kenya's forests using Japanese forestry as a model
	12:00	昼休み		
		<学生2: 猪俣雄太>		
	13:00	松木 愛子	宇都宮大学院農学研究科	Kinectを活用した森林内微地形の3次元計測
	13:15	渡邊 優美	京都大学大学院農学研究科	タワヤーダによる間伐作業のモデル化
	13:30	大塚 大	信州大学大学院農学研究科	車両系作業システムによる漸伐終伐時の労働生産性
13:45	吉田 美佳	東京大学	小形移動式チツパにおける樹種および材積と生産性の関係	
	<作業・労働: 吉岡拓如>			
14:00	山田 啓三	愛媛大学農学部	無線による近接作業警報装置の開発	
14:15	松村 哲也	信州大学SVBL	チエーンソー防護ズボンの配色デザイン	
14:30	鹿島 潤	森林総研	林内で認識しやすい標識用の色について	
14:45	後藤 純一	高知大学	オートチャョーカーの機能評価	
15:00	伊藤 崇之	森林総研	合成繊維素材の控索への適用可能性	
15:15				
15:30			表彰・閉会	

学術発表会スケジュール（12/5：共通棟 105号）

会場	時間	発表者氏名	所属	発表題名
第2会場 105号	9:00	会場準備		
		<路網1：斎藤仁志>		
	9:15	渡辺 靖崇	広島県立総合技術研究所林業技術センター	グラブブル機能の有無によるシヨベル系掘削機の作業道作設能率の比較
	9:30	鈴木 秀典	森林総研	作業道軟弱路面への丸太埋設によるわたちの抑制
	9:45	與儀 兼三	広島県立総合技術研究所林業技術センター	PS灰を原料とした造粒固化体を路盤材とした作業道の作設5年後の評価
	10:00	休憩		
		<路網2：鈴木秀典>		
	10:15	宗岡 貢子	森林総研	大量の路面侵食量データを活用した新たな横断溝間隔の目安導出手法の提案
	10:30	斎藤 仁志	信州大学農学部	高解像度DTM利用した崩壊危険地抽出手法の開発—路網計画支援を目的として—
	10:45	白澤 紘明	信州大学農学部	道路拡幅による原木輸送コストの削減効果
	11:00			
	11:15			
	11:30			
	11:45			
12:00				
13:00				
13:15				
13:30				
13:45				
14:00				
		<バイオマス・情報：櫻井倫>		
14:15	芝 正己	琉球大学農学部	沖縄県の森林・林業の展開とその特徴	
14:30	鈴木 保志	高知大学農学部	木質バイオマス事業への供給を想定した架線集材材による広葉樹皆伐作業の生産性	
14:45	長谷川 尚史	京都大学FSERC	森林におけるマルチGNSSの利用可能性	
15:00	仁多見 俊夫	東京大学大学院農学研究所	作業位置情報による班作業システム構築把握の標準化	
15:15				
15:30				

第 22 回学術研究発表会プログラム

12月5日(土)

8:45～ 受付
8:55～ 会長挨拶

発表時間 12 分, 質疑 3 分

(予鈴 10 分, 終鈴 12 分, 打切り鈴 15 分)

★ : 学生会員による発表

※時間厳守でお願いします。時間超過は打ち切ります。

<104 会場>

セッション 1-1 座長：長谷川尚史（京都大学）

- 9:00～ 9:15 北海道におけるCTLシステムの現状
○佐々木尚三（森林総研北支）・中澤昌彦・鈴木秀典・上村巧（森林総研）・斉藤丈寛（下川町）
- 9:15～ 9:30 北欧製ハーベスタ・フォワーダシステムによる皆伐作業の生産性
○大矢信次郎・宮崎隆幸・柳澤信行（長野県林総セ）・斎藤仁志・大塚大・城田徹央（信大農）
- 9:30～ 9:45 トラクタ+トレーラ型フォワーダ集材の生産性と作業コスト
○岩岡正博（東京農工大院農）・鈴木由啓（山梨県）・松本武（東京農工大院農）

セッション 2-1 座長：有賀一広（宇都宮大学）

- 10:00～10:15 架線を利用した一貫作業システムの実証試験
○山崎真・渡辺直史・藤本浩平（高知森技セ）
- 10:15～10:30 スイングヤードによるウインチ集材と「伐倒同時集材方式」を組み合わせた作業方法の検討
○片桐智之（岡山県森林研）
- 10:30～10:45 一貫作業システムによる再造林の省力化及び低コスト化の実証試験
○河野雄一（鹿森技セ）
- 10:45～11:00 作業条件の違いによるコンテナ苗植栽作業における作業姿勢の評価
○旗生規・今富裕樹（東京農大）・猪俣雄太・伊藤崇之・鹿島潤・山口浩和・山田健（森林総研）

セッション 3 座長：白澤絃明（信州大学）

- ★ 11:15～11:30 救命要請のためのデータ伝送可能な自動発報ホイッスルの開発
○菊地嵩（日工大院）・榎橋康博（日工大）
- ★ 11:30～11:45 平成 13 年～25 年における林業労働災害の傾向
○中島千嘉（名大院生命農）・山田容三（愛大農）
- ★ 11:45～12:00 Predicting the future of Kenya's forests using Japanese forestry as a model（日本林業を規範とするケニアの森林の将来予測）

○ビルトアップデバイス コンディ (高知大院総人自)・鈴木保志・後藤純一・松本美香 (高知大農)

★ **セッション 4 座長：猪俣雄太 (森林総合研究所)**

13:00～13:15 Kinect を活用した森林内微地形の 3 次元計測
○松木愛子・田坂聡明・有賀一広・松英恵吾 (宇大農)

★ 13:15～13:30 タワーヤードによる間伐作業のモデル化
○渡邊優美 (京大院農)・長谷川尚史 (京大フィールド研)・白澤紘明 (信大農)

★ 13:30～13:45 車両系作業システムによる漸伐終伐時の労働生産性
○大塚大 (信大院農) 斎藤仁志・守口海・植木達人 (信大農)

★ 13:45～14:00 小形移動式チップにおける樹種および材積と生産性の関係
○吉田美佳 (東大農)

セッション 5-1 座長：吉岡拓如 (日本大学)

14:00～14:15 無線による近接作業警報装置の開発
○山田容三 (愛大農)・伊藤義雄 (ファースト電子開発)

14:15～14:30 チェーンソー防護ズボンの配色デザイン
○松村哲也 (信州大 SVBL)・工藤義治 (八戸市森林組合)

14:30～14:45 林内で認識しやすい標識用の色について
○鹿島潤 (森林総研)

14:45～15:00 オートチョーカーの機能評価
○後藤純一・五明友実 (高知大農)

15:00～15:15 合成繊維素材の控索への適用可能性
○伊藤崇之 (森林総研)・泉田信幸・波崎卓巨・鶴田直人 (林業機械化センター)・清水直喜 (塩那森林管理署)

15:30～ 学生優秀論文発表賞 表彰式・閉会

<105 会場>

セッション 1-2 座長：齋藤仁志（信州大学）

- 9:15～ 9:30 グラッブル機能の有無によるショベル系掘削機の作業道作設能率の比較
○渡辺靖崇・與儀兼三・涌嶋智（広島総研林技セ）
- 9:30～ 9:45 作業道軟弱路面への丸太埋設によるわだちの抑制
○鈴木秀典・猪俣雄太・山口智（森林総研）・富元雅史・波崎卓臣・加利屋義広（林業機械化セ）
- 9:45～10:00 PS 灰を原料とした造粒固化体を路盤材とした作業道の作設 5 年後の評価
○與儀兼三・渡辺靖崇・涌嶋智（広島総研林技セ）

セッション 2-2 座長：鈴木秀典（森林総合研究所）

- 10:15～10:30 大量の路面侵食量データを活用した新たな横断溝間隔の目安導出手法の提案
○宗岡寛子・鈴木秀典・山口智（森林総研）・和多田友宏・臼田寿生（岐阜県森林研究所）
- 10:30～10:45 高解像度 DTM 利用した崩壊危険地抽出手法の開発—路網計画支援を目的として—
○齋藤仁志・白澤紘明（信大農）・戸田堅一郎（長野県林総セ）・矢部浩（鳥取県林試） 臼田寿生・和多田友宏（岐阜森林研）・鈴木秀典・村上巨・多田泰之・大丸裕武（森林総研）
- 10:45～11:00 道路拡幅による原木輸送コストの削減効果
○白澤紘明（信大農）・長谷川尚史（京大フィールド研）

セッション 5-2 座長：櫻井倫（宮崎大学）

- 14:15～14:30 沖縄県の森林・林業の展開とその特徴
○芝正己（琉大農）・知念良之（鹿大連合農学研究科）
- 14:30～14:45 木質バイオマス事業への供給を想定した架線集材による広葉樹皆伐作業の生産性
○鈴木保志（高知大農）・山崎真・渡辺直史（高知森技セ）・福田雄治（グリーン・エネルギー研）
- 14:45～15:00 森林におけるマルチ GNSS の利用可能性
○長谷川尚史（京大フィールド研）・上遠野輝義・西川祐矢（ジオサーフ）・山本晃士（竹谷商事）
- 15:00～15:15 作業位置情報による班作業システム構造把握の標準化
○仁多見俊夫（東大院農）